

家棟川ビオトープ 魚の観察会を 開催しました～(^・^)♪

平成25年9月14日(土)9時から野洲市野田地先にある家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

今年1回目の観察会で、晴天に恵まれ、けが人もなく無事観察会を終えることが出来ました。公募で集まっていた家族連れや個人の方々32名とスタッフ19名の計51名で、船に乗って家棟川で魚を捕まえたり、ビオトープの池に入って魚類や昆虫等を捕まえたり、野草の天ぷらによる試食を行いました。



家棟川では、投網と刺し網で魚の捕獲を行いました。琵琶湖の固有種であるビワヒガイが捕獲できたのをはじめ、カネヒラや外来魚であるブラックバスが捕れました。

ビオトープの池では、メダカが大量に捕獲できたほか、ニゴロフナやヌマムツ、カワヨシノボリなどの魚が捕れました。また、水性昆虫では、タイコウチやガムシが捕れました。

講師の先生から、魚の特徴や見分け方、水生昆虫の不思議な生態などの説明を、みんな興味津々で聞いていました。





捕獲した生き物を観察



野草の天ぷらを試食

さらに、ビオトープの池にはブラックバス等の外来魚は今年もいなかったのも、良好な環境が保たれていることも確認できました。

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れた野草の天ぷらをみんなで試食しました。くずの芽や花、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、ドクダミ、ツユクサなどの野草の天ぷらを食べると、『ツユクサはたべやすい。ヨモギは香りがいい。セイタカアワダチソウはクセがある。』など、いろいろな感想が子どもたちから聞こえてきました。おにぎりを持参している参加者の方々もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。

参加してくれた子どもたちから、また参加したいという声もいただきました。次は、来年春に自然観察会を開催予定ですので、多数のご参加お待ちしております！！



参加者全員で記念撮影

家棟川ビオトープ自然観察会

主催 NPO法人家棟川流域観光船、滋賀自然環境研究会、琵琶湖河川事務所
野洲市、南部土木事務所、滋賀県(流域政策局河川・港湾室)

協力 水資源機構(琵琶湖開発総合管理所)

事務局 滋賀県(流域政策局河川・港湾室)